

■主役を俺だー2025年秋②

□中西 亮太（なかにし・りょうた） 釧路公立大4年 QB/LB

1部昇格4年目の釧路公立大ゴールデンクレインズが、準優勝と大躍進を果たした昨年の北海道学生選手権。QB中西には忘れられない一投がある。優勝28回を誇る北海道大から劇的な勝利を奪ったTDパスだ。1点差を追う第4Q残り42秒、敵陣15ヤードからの攻撃でラッシュをくぐって投げた渾身のパスを、エースレシーバーのWR高坂駿佑（当時4年）がエンドゾーン内で鮮やかにキャッチ。トライの2点コンバージョンも決まり14-7の逆転勝ちを決めた。「取ってくれると信じて投げた。練習通りのプレーだった」と満足そうに振り返った。

旭川商業高では硬式野球部の二塁手。大学で新しいスポーツをしたかったことと、「本気で全道制覇を目指す」という言葉に心を打たれてアメフト部の門をたたいた。野球で鍛えた肩と、「考えてプレーするのが好きなので」とQBを志望した。3人のQBを使い分けた昨季の秋季リーグでは強肩を生かしたパスと、「筋トレの成果で入部時から25キロ増えた」という172センチ、90キロのがっちりした体を生かしたQBランでチームを引っ張った。「パスもランも、ここぞという時に決められる勝負強さがある」と胸を張る。

新入生10人を含む選手29人で臨む今季。リーダーシップを見込まれて主将も務める。目指すは昨年、あと一步で逃した初優勝。「全員が同じ目標に向かっていく一体感をつくりたい」と力を込める。昨年、6-7の1点差で惜敗した北海学園大戦は、試合開始のキックオフリターンで許したTDが最後まで響いた。「詰めの甘さが出た。技術プラスアルファが必要だ」と、今も悔しさを忘れない。今春のオープン戦で北海学園大に敗れたことも発憤材



料だ。昨年からLBも兼務し、攻守両面でチームを引っ張る今季。「4年生5人は去年もフル出場している。下級生のフレッシュさと最上級生の豊富な経験をミックスして戦いたい。パスもばんばん決めたい」と力強く決意した。

〈プロフィール〉

2004年3月23日、旭川生まれ。経済学部経営学科4年。背番号4は「二塁手時代の流れで」と言うが「栄光の背番号にしたい」とも。